

NEC

OperationHelperTM
for Microsoft[®] Cluster Service R2.0
ServerExtension

UL1181-101

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、『OperationHelper for Microsoft® Cluster Service R2.0 ServerExtension』(以下『OperationHelper SE』と省略します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、お買い上げいただいたセットの内容の確認、セットアップの内容を中心に構成されています。OperationHelper SE をお使いになる前に必ずお読みください。

なお OperationHelper SE をご利用するにあたって、「OperationHelper SE ユーザーズガイド」を必ず参照してください。

Microsoft®および Windows® 2000 Advanced Server、Windows® 2003 Datacenter Server、Windows® Server 2003 Enterprise Edition、Windows® Server 2003 Datacenter Edition は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他のシステム名、社名、製品名はそれぞれの会社の商標及び登録商標です。

目次

1	パッケージの中身を確認してください	1
2	製品構成	1
3	セットアップ	2
3.1	インストールする前に	2
3.2	OperationHelper SE のインストール	3
4	アンインストール	9
4.1	アンインストール	9
5	補足	11

1 パッケージの中身を確認してください

OperationHelper SE のパッケージ内容は次の通りです。添付品がすべてそろっているか確認してください。

- i. OperationHelper SE ライセンスシート
- ii. ソフトウェアのご使用条件
- iii. お客様登録カード
- iv. セットアップカード(本書)

2 製品構成

本製品は、OperationHelper SE のライセンスのみを提供するものです。OperationHelper SE のソフトウェアは、「OperationHelper for Microsoft Cluster Service R2.0 Startup CD」の CD-ROM 媒体に収められています。

OperationHelper SE は、以下のソフトウェアから構成されます。

名称	機能概要
OperationHelper SE サービス	MSCS の監視、制御を行います。 クラスタサービスの可用性を向上させます。
OperationHelper SE 設定ダイアログ	OperationHelper SE サービスの動作環境を設定できます。 リモートマシンにインストールした場合、リモート操作で設定を行うことができます。
クラスタシャットダウンコマンド	クラスタを構成するすべてのサーバを正常にシャットダウンまたは再起動させます。 (OperationHelper SE サービスとともにインストールされます)

OperationHelper SE をご使用になるためには、まず MSCS によりクラスタを構成している全サーバにそれぞれセットアップしていただく必要があります。

なお、本製品は、1 製品につき 1 サーバにセットアップすることができます。

セットアップとは、CD-ROM 媒体内の OperationHelper SE のプログラムを、実行できる形式にして固定ディスクにインストールし、各ソフトウェアが動作できるよう設定することです。セットアップを行うと、OperationHelper SE サービスがサービスプロセスとして起動します。また、OperationHelper SE 設定ダイアログ、クラスタシャットダウンコマンドが使用可能になります。

3 セットアップ

ここでは、OperationHelper SE のセットアップ方法について説明します。

3.1 インストールする前に

OperationHelper SE は、下記の環境で動作します。セットアップするすべてのサーバで、各項目を確認してください。

i. 動作環境は整っていますか

「OperationHelper SE」は次の環境で動作します。

全てをインストールする場合

ハードウェア	Microsoft Cluster Service の動作環境と同じです。
OS	Windows® 2000 Advanced Server ServicePack 2 以上 Windows® 2000 Datacenter Server ServicePack 2 以上 Windows® Server 2003, Enterprise Edition Windows® Server 2003, Datacenter Edition
必要メモリ 容量	8 M バイト
必要ディスク 容量	3 M バイト (6M バイト)

OperationHelper SE 設定ダイアログのみをインストールする場合

ハードウェア	Windows® 2000 以降が動作する環境。
OS	Windows® 2000 以降
必要メモリ 容量	6 M バイト
必要ディスク 容量	3 M バイト (6M バイト)

カッコ内の数字はインストール時に必要なディスク容量です。

ii. サーバに MSCS が組み込まれていて稼働していますか

「OperationHelper SE」を実行するためには、MSCS が稼働している必要があります。MSCS がインストールされていない、または、インストールされていても停止している場合は「OperationHelper SE」をインストールできません。

なお、設定ダイアログのみリモートマシンにインストールする場合は、MSCS がインストールされている必要はありません。

3.2 OperationHelper SE のインストール

インストールは、Administrator 権限を持つユーザで行ってください。

「OperationHelper for Microsoft Cluster Service R2.0 Startup CD」の CD-ROM 媒体を CD-ROM ドライブに装填したのち、「OperationHelper for Microsoft Cluster Service R2.0 Startup CD」のセットアップカードにしたがって、OperationHelper SE のインストールを開始し、セットアップを行ってください。

インストールを開始しますとセットアップウィザードが表示されますので、画面の指示に従い操作を行ってください。

Windows Installer 2.0 がインストールされていない場合、マシンに Windows Installer 2.0 がインストールされます。インストール完了後、[OK]を押してください。

- (1) 「OperationHelper SE」インストールダイアログボックスが表示されます。[次へ]を押してください。

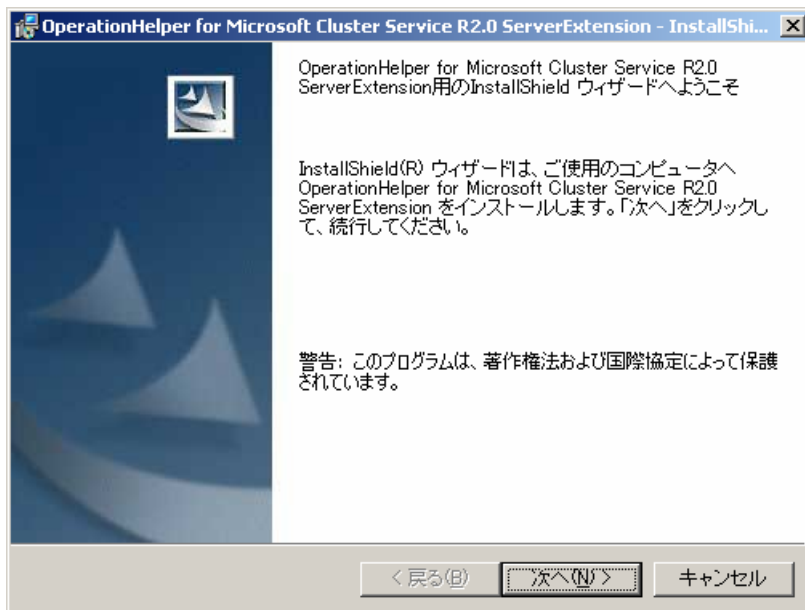


図 1 セットアップ開始画面

- (2) 使用許諾書の内容を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、[次へ]を押してください。ここで「使用許諾契約の条項に同意しません」を選択するとインストール作業を進めることができません。

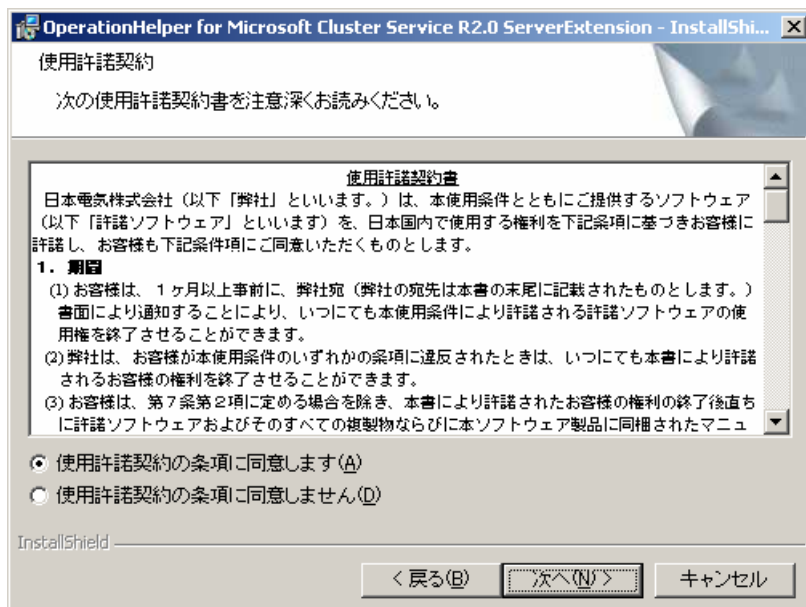


図 2 使用許諾書画面

- (3) インストールするコンポーネントを選択し、[次へ]を押してください。[すべて]を選択した場合、(4)へお進みください。[クライアントコンポーネントのみ]を選択した場合、(8)へお進みください。

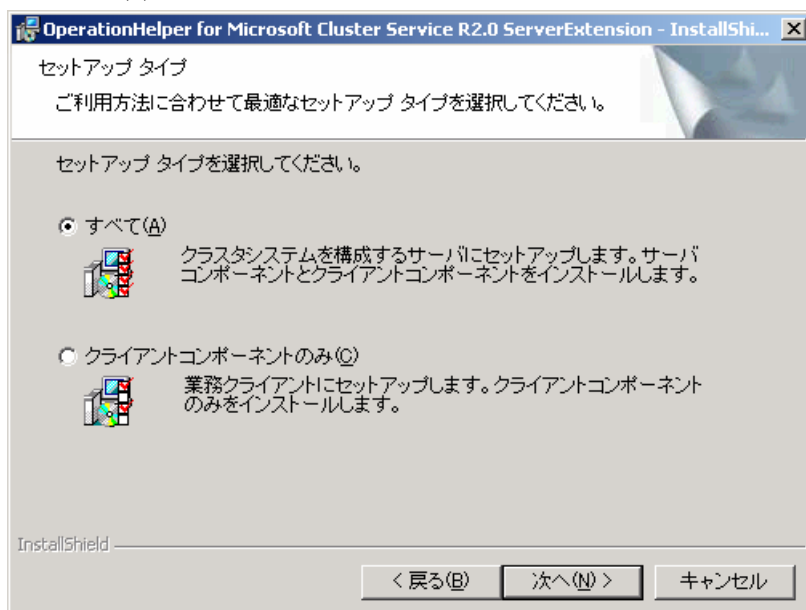


図 3 セットアップタイプ画面

- (4) 「OperationHelper SE」をインストールするディレクトリを変更するには[変更]を押してください。インストールするディレクトリが決まりましたら、[次へ]を押してください。



図4 インストール先のフォルダ画面

- (5) 製品をお買い求めいただいた場合は、[製品版]を選択し、[次へ]を押してください。[製品版]を選択した場合、(6)へお進みください。期限付きの評価版をご利用になる場合は[評価版]を選択し、[次へ]を押してください。[評価版]を選択した場合、(7)へお進みください。

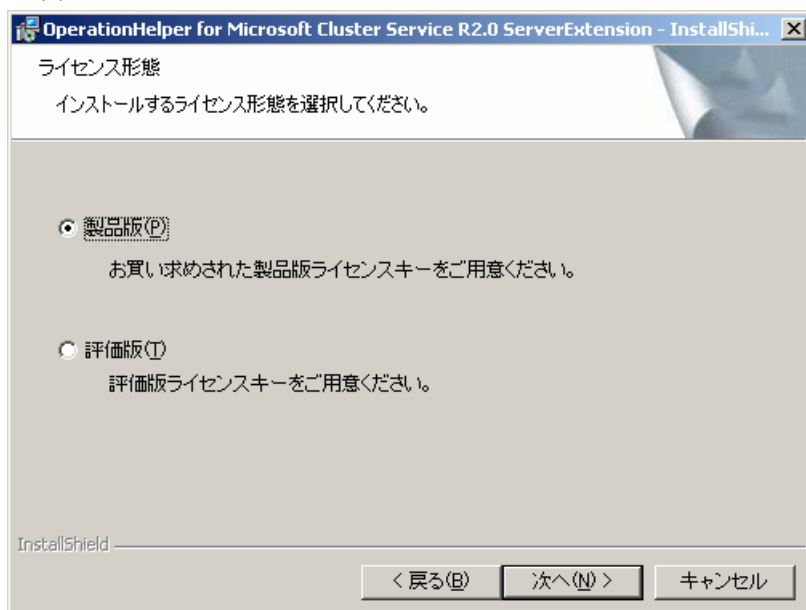


図5 ライセンス形態画面

(6) 製品版の場合

ユーザ情報を入力し、[次へ]を押してください。シリアル番号、ライセンスキーの部分には、ソフトウェアライセンスキー証明書に記載されているキーコード(図7の網掛けの部分)を入力してください。

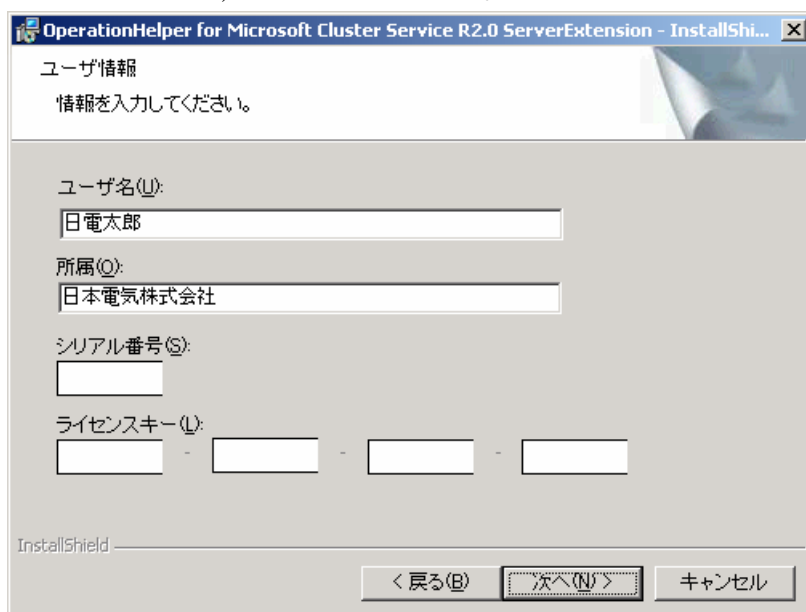


図6 ユーザ情報画面

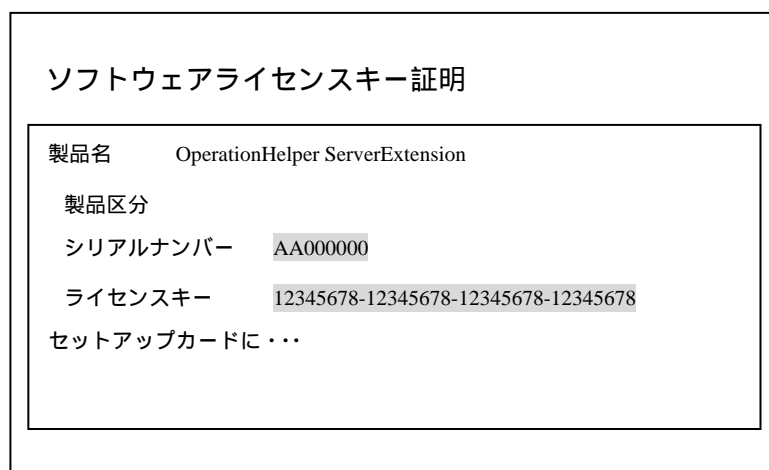


図7 ソフトウェアライセンスキー証明書

(7) 評価版の場合

ユーザ情報を入力し、[次へ]を押してください。お試し版を下記、URL からお申し込みください。お客様メールにてお届けしました本文からユーザ名、開始年月日、終了年月日、ライセンスキーを入力してください。

<http://www.ace.comp.nec.co.jp/OperationHelper/OHforMSCS/index.htm>

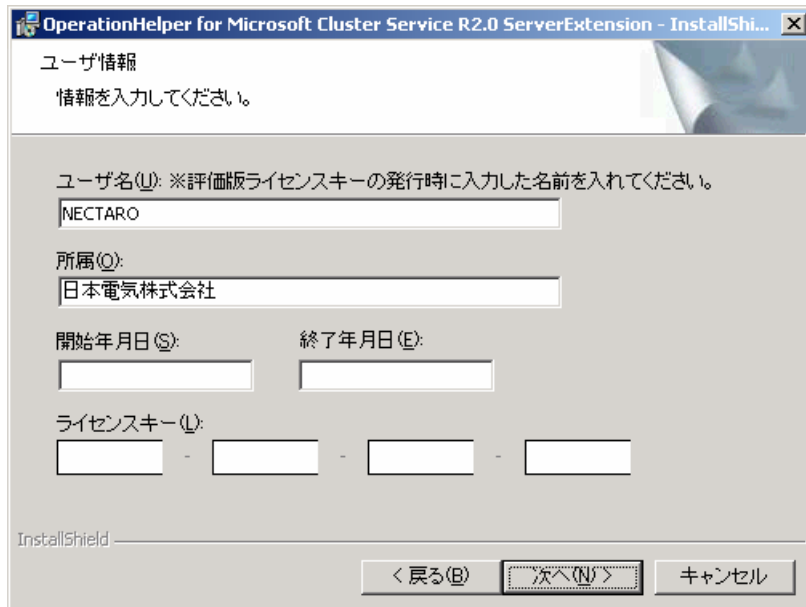


図 8 ユーザ情報画面

(8) クライアントコンポーネントのみをインストールする場合

ユーザ情報を入力し、[次へ]を押してください。

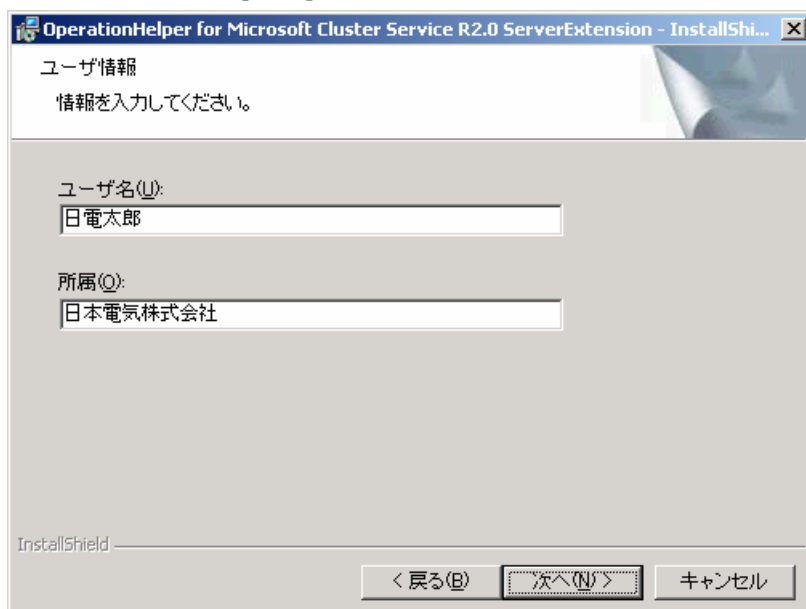


図 9 ユーザ情報画面

- (9) よろしければ[インストール]を押してください。

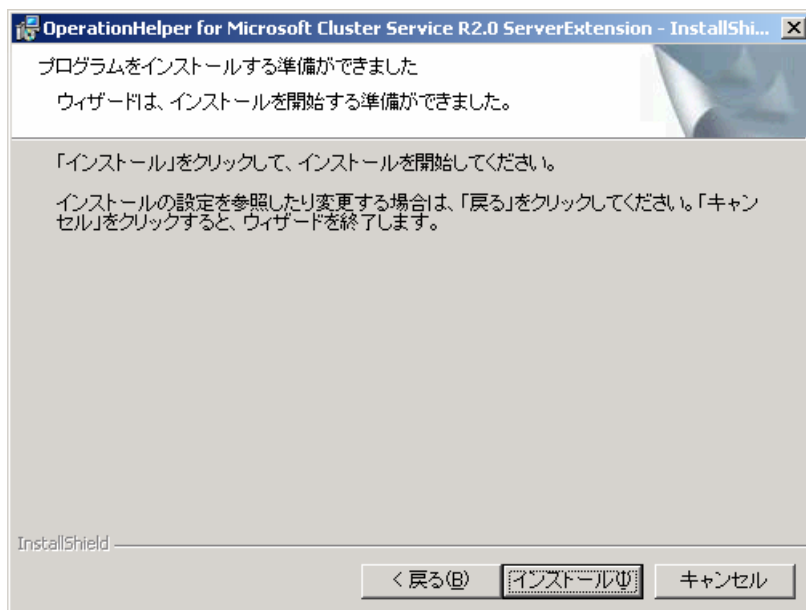


図 10 インストール開始

- (10) 「OperationHelper SE」セットアップ完了画面が表示されます。
[完了]ボタンを押すとセットアップが完了します。

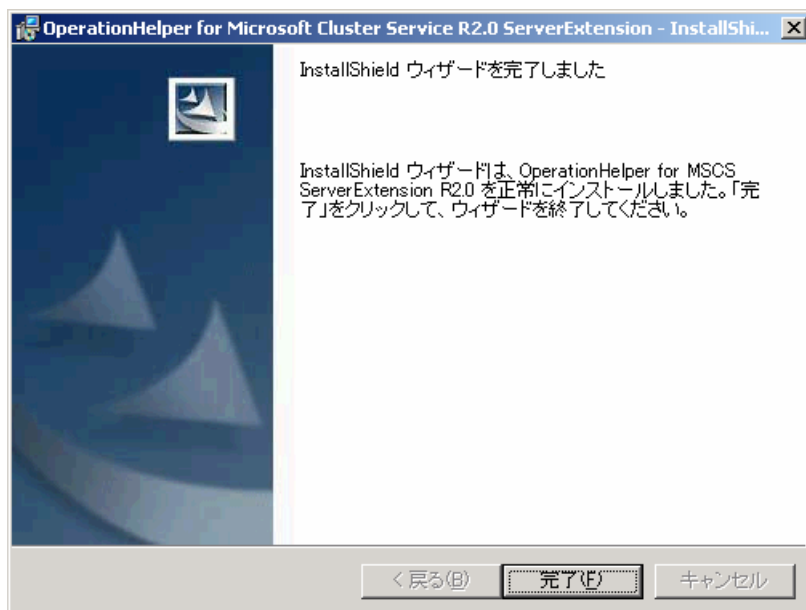


図 11 インストール完了

4 アンインストール

アンインストールは、Administrator 権限を持つユーザで行ってください。

下記のいずれかの方法で、アンインストールを実行してください。

- ア) 「アプリケーションの追加と削除」で「プログラムの変更と削除」を指定し、「OperationHelper for MSCS ServerExtension」を指定する。
- イ) インストール時と同様に Setup.exe を起動し、アンインストールを実行する。

Setup.exe を実行しますとアンインストールのセットアップウィザードが表示されますので、画面の指示に従い操作を行ってください。値を指定する箇所はありません。

4.1 アンインストール

- (1) 図 12 の画面で[次へ]を選択してください。

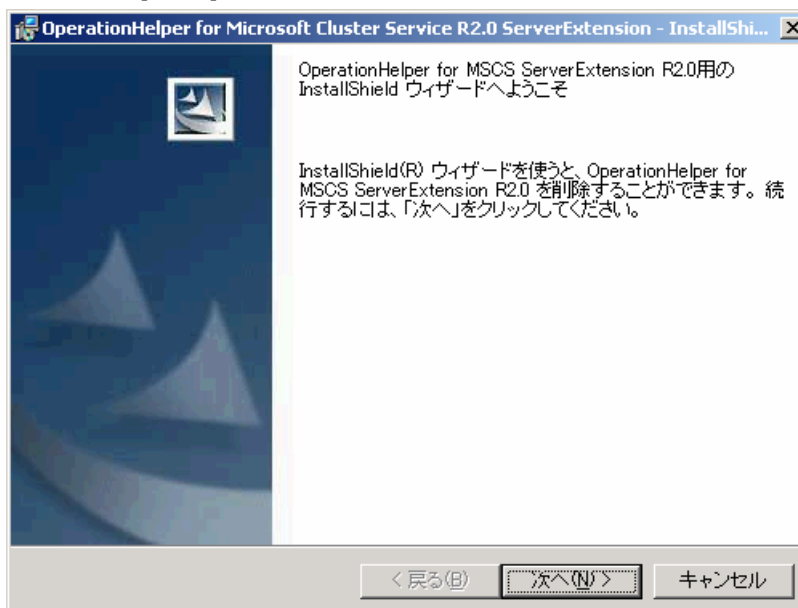


図 12 アンインストール開始

- (2) アンインストールを確認する画面が表示されますので[削除]を押してください。

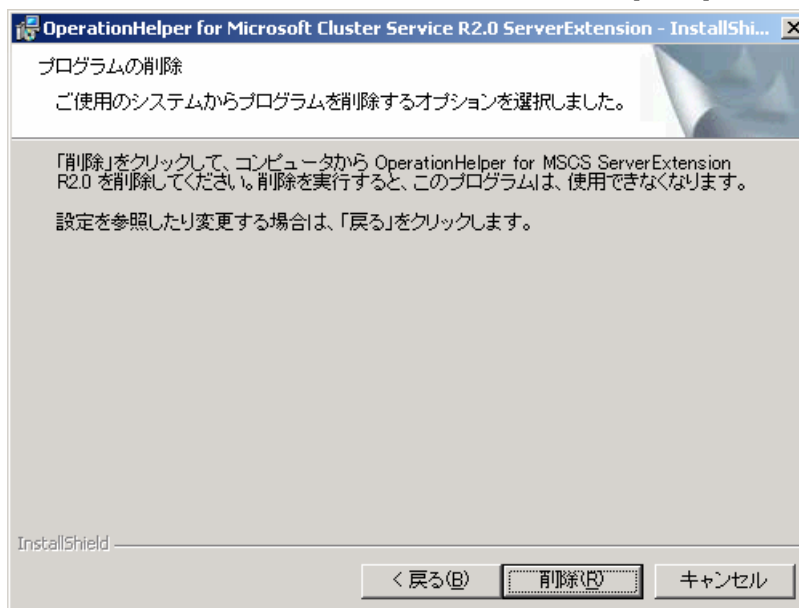


図 13 削除開始確認

- (3) 「OperationHelper SE」セットアップ完了画面が表示されます。
[完了]ボタンを押すとアンインストールが完了します。

 アンインストール前に設定された情報、収集したログはそのまま残ります。

5 補足

- 1) セットアップが完了した後、既にインストールされているフォルダ名を変更することはできません。インストールしたフォルダの場所、名前を変更したい場合は、OperationHelper SE をアンインストールしてセットアップをやり直す必要があります。
- 2) OperationHelper SE をインストールいたしますと、クラスタ単位で OperationHelper SE の動作環境が初期化されます（パスワードは“設定なし”の状態、その他の設定値はデフォルト値に書き換えられます）。片方のサーバで動作環境の設定変更を行った後、もう片方のサーバに OperationHelper SE をインストールした時は、再度動作環境を設定し直す必要があります。
- 3) セットアップが完了すると、OperationHelper SE ユーザーズマニュアル、セットアップカード、設定ダイアログ起動ツールが[スタート]-[プログラム]-[OperationHelper SE]下に配置されます。デスクトップには OperationHelper SE 設定ダイアログの起動ツールが作成されます。
- 4) 本製品を全てインストールしている場合、再インストール時は、アンインストール後、サーバを再起動してください。サーバを再起動後、インストールしてください。

OperationHelper SE サービスのみをインストールした後に OperationHelper SE 設定ダイアログを追加する場合は、OperationHelper SE サービスのアンインストールを行い、すべてのコンポーネントを再インストールしてください。